

## 情報統合型物質・材料研究拠点の

### 取組み・目標・将来ビジョンの紹介

寺倉清之

物質・材料研究機構

情報統合型物質・材料研究拠点

2011年に発表され、2012年から始まった米国での MGI (Materials Genome Initiative) は、物質・材料研究における第4の科学（データ科学）の本格的な始まりを告げるものであり、全世界の関連研究者に強い刺激を与えた。これは、1980年代に始まった第3の科学（計算科学）の延長線上にあり、膨大な情報を如何に有効に活用するか、ということが重要な課題として浮かび上がった。MGIに刺激されて、ヨーロッパ、中国、韓国でも関連のプロジェクトがスタートしたが、我国でも新しい国家プロジェクトが立ち上がった。それは、物・材機構をハブ拠点とする、JSTプロジェクト「情報統合型物質・材料開発イニシアティブ：略称 MI<sup>2</sup>I」である。これに関連して、JST さきがけがスタートし、経済産業省関連でも類似プロジェクトが来年度から始まると予想される。

本講演では、我々のプロジェクトの概要と、情報統合型物質・材料研究（：MI<sup>2</sup>と呼ぶ）の概念を説明したい。